

# 平成19年度第1回港区3R推進行動会議議事録（要旨）

平成19年8月30日

## まとめ

---

- 各主体で行動し、情報を共有しながら7つのプロジェクトを進めていく。そのなかでも、「イベント3R」、「ストップ！レジ袋」、「ひるどき3R企画会議」の3つを重点プロジェクトとし、区民・事業者・区が連携して進める。
- 「ひるどき3R」については、事業者と区民団体が意見交換し、知恵を合わせながらキャンペーンを広めていく。また「ひるどき3R企画会議」を立ち上げて新しいアイデアを出し、実践に向けて話し合う場とする。
- 「イベント3R」については、祭りなどを対象として部分的に活動を行い、経験したことや反省点などを話し合い、ノウハウ集としてまとめていく。
- 「ストップ！レジ袋」については、個々の活動では限界があるため、行政、事業者、区民が情報を共有し、連携して進めていく。

## 1 区挨拶等

---

- 昨年度は7つのプロジェクトの方向性が決まった。今年度は事業者、区、区民が主体的に行動する中で、連携を取りながら展開していきたい。この会議から様々な情報提供、行動発信していきたい。
- 地球温暖化対策にどのように繋がっていくのか感じ取りながら知恵を合わせて進めていきたい。

## 2 資料説明

---

### 事務局からの説明

- 7つのプロジェクトを連携して進めていく。各主体で行動しながら情報の共有をしていきたい。「イベント3R」、「ストップ！レジ袋」、「ひるどき3R企画会議」の3つを重点プロジェクトにする。
- 「ひるどき3R」については、事業者と意見交換して、キャンペーンを実施するための調整をしたい。事業者と区民団体の情報を共有したい。
- 「みんなとひるどき3R」のロゴマークを使ってキャンペーンを広めていく。
- 今まで個々でやっていた取り組みとも連携して、プロジェクトを進めていく。
- 「ひるどき3R企画会議」を立ち上げて、新しいアイデアや実践に向けての話し合う機会としたい。

## 3 意見交換

---

### 意見交換

- レジ袋の削減に手応えあり、若者に関心があるものと思われる。
- 5月に芝浦で開催した雑魚祭りでは、食器のデポジット制度を実験的に実施し、ごみ削減に効果的だと感じた。
- 商店街の祭りでは地元の高校生にごみの分別をサポートなどしていただいた。学校側の積極的な協力、生徒への環境学習は重要である。
- 事業者を入れて事業系のごみを減らしていきたい。

- ・ レジ袋削減を進めている「生活学校」の活動と連携してやっていきたい。
- ・ 事業者の熱心なレジ袋削減の取り組みが社会的に増加してきているため、情報交換をしていくべきである。
- ・ 地域団体が割り箸の回収を行っている。この活動を他地域にも広げていきたい。
- ・ 地域の方は丁寧に説明すれば、協力してくれる。
- ・ 「イベント3R」についてモデル的に行った活動の経緯やノウハウを公開したほうがいい。
- ・ 緑化をすることによって景観がよくなる。市民に情報を紹介すれば積極的に取り組んでくれる。情報を共有する機会をたくさん作ることが大切。
- ・ 生ごみ堆肥化、緑化推進、緑のカーテンなどは都市部で取り組みやすい。
- ・ ワーキングリーダーを立てることによって動きが見えやすくなる。会合のときにロゴをつけて活動を広めるとよい。
- ・ 港区3R推進行動会議の後押しが必要。個々の活動では限界がある。行政と事業者の協力が不可欠。
- ・ 港区独自の3Rを進めていくべき。レジ袋削減とエコポイントカードをリンクさせる。ポイントは物と交換できる。そのようなシステム作りをしていくべきである。
- ・ 団体だけでなく個人でも参加できるような仕組みを作っていきたい。
- ・ 今できることや活動の動きが見えてくるとおもしろい。

## イベント3Rについて

- ・ 知恵の共有をどのように進めていくのかが重要である。
- ・ 大きすぎない祭りをターゲットに進めていくべき。大きい祭りでは外来者が多く收拾がつかない。その次くらいの規模の祭りが妥当。
- ・ イベントの内容にすべての3R推進の取り組みを組み入れるのは難しい。リユースカップやリサイクル食器など部分的に行っていくべき。
- ・ 祭りや学園祭などのイベントが増える9、10月に実験するのが良いだろう。
- ・ 区の中で経験したことをまとめてノウハウ集のようなものを作ると良い。実験的に実施した成果や関わった人たちの感想や反省などを話し合う機会があるとよい。

## ひるどき3Rについて

- ・ 各企業に意見交換や情報共有をする場を設けるべき。10月11日の午後に港区のいろいろな事業者が集まって知恵を合わせて作戦会議を行う。
- ・ 最初は簡単にできることからはじめ、徐々に活動を広げていく。ひるどきにそのような活動を行うことによって会社に戻ってから意識するようになる。
- ・ 企業や大学、いろいろな所に呼びかけを行う。お店に直接呼びかける。

次回3R推進行動会議は、11月に実施する。プロジェクトの進捗状況などを報告する予定。